

## JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2025 滋賀の受賞者へ賞状を授与

JICA が実施する「国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト」では、2025 年度「世界の幸せのために私たちができること～未来へつなげるために～」をテーマに作品を募集しました。

この度、全国からの応募総数 29,854 作品(中学生の部:11,943 作品、高校生の部:17,911 作品)の中から、「国内機関長賞(JICA 関西所長賞)」を受賞した生徒の学校を JICA 関西が訪問し、賞状を授与します。訪問時には、世界に関心を寄せる受賞生徒と国際協力経験豊かな JICA 関西・滋賀デスク(国際協力推進員※)が、国際協力や SDGs 等について懇談予定です。

※ 地域の JICA の窓口として、地域国際化協会など地方自治体が実施する国際協力事業の活動拠点に JICA が配置しています。

世界との繋がりがますます深まる現在、未来のために、滋賀の中学生・高校生が何を考え、どのような行動をしようとしているのか、ぜひ取材ください！

受賞生徒、学校教諭、滋賀デスクへのインタビューが可能です。

### 【日程】 2月26日(木)16:30～ (30分程度)

学校名	賞	学年	受賞作品名	学校所在地
学校法人立命館 立命館守山中学校	国内機関長賞	1	コミュニケーションが世界を繋げる	守山市三宅町 250番地
	佳作	2	K-POP から始まった、 私の世界の幸せづくり	
	佳作	2	「ちがい」から生まれたこと	
	佳作	3	誰かの痛みに気づくこと	
	佳作	3	小さな行動が未来を変える	
特別学校賞(※)				
学校法人立命館 立命館守山高等学校	国内機関長賞	3	その声に耳を傾けたとき、 私の“幸せ”が変わった	
	特別学校賞(※)			

(※)5 年以上連続で学校賞(60 作品以上または全校生徒の 3 割以上の応募があった学校)を受賞した学校が対象

取材希望の場合は下記連絡先まで事前にご連絡ください。

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 関西 市民参加協力課
TEL:078-261-0384

## <参考>

### 【受賞作品概要】

#### ●国内機関長賞 立命館守山中学校 1年

##### タイトル:コミュニケーションが世界を繋げる

家の向かいに住んでいるおじさんとバングラデシュ人のラハマンは言葉が十分に通じなくてもお互い身振り手振りで楽しそうに交流していた。私もラハマンと話し、楽しかったことを覚えている。それから私はバングラデシュについて調べ、開発途上国であることを知った。日本はかつて多くの国から支援を受けて発展した。今は私達が開発途上国を支える側だ。では何をすべきか。おじさんがラハマンとバングラデシュ料理を作っていたとき、おじさんがイスラム教徒のラハマンが何を食べられないかを把握していた様子から、相手の文化を知り認めることが相手にとって嬉しく感じると思った。だから、身近なところから学校の留学生や観光客と積極的にコミュニケーションをとりたい。多くの人がコミュニケーションを通じて行動を起こせば、開発途上国の課題解決もできると思う。外国人との関りを深め意見交換をする事で世界に対する視野を広げ、世界の問題解決へと繋げていきたい。

#### ●国内機関長賞 立命館守山高等学校 3年

##### タイトル:その声に耳を傾けたとき、私の“幸せ”が変わった

ケニアへ渡航した際、路上で食べ物を求めてくる男の子たちに出会ったが、ツアースタッフからは「かわいそうだと思っても無視してください」と説明があった。自分と子供たちの環境の違いに心が締めつけるような苦しさを覚えた。それから一年経過してもその記憶が消えず、貧困について考えたいと思い、インドを訪れた。そこで、学校を途中で退学し親の手伝いをする少女と出会った。少女は勉強がしたいと強く語り、私はその時「教育」の大切さに気付いた。質の高い教育は高収入の仕事につくことができ、家族を支え、自分のなりたい職業を選ぶことができる。この経験から私は「教育を通じて、貧困の連鎖を断ち、子供たちに選択肢と幸せを提供する方法」をテーマに探求活動を行っている。幸せの基準は人それぞれだが、一人ではつかめない。必ず誰かの支えが関わっている。全ての人が幸せだと感じられる社会を目指すため、私たちは互いに助け合える関係を築くことが大切だと思う。幸せのために私が今できることは、「少しでも多くの人が笑顔でいられるように本音で耳を傾けること」である。

### 【関西の応募(審査作品)総数】

都道府県	中学	高校	全体
滋賀県	1,042	329	1,371
京都府	579	742	1,321
大阪府	597	1,093	1,690
兵庫県	237	675	912
奈良県	151	80	231
和歌山県	159	19	178
計	2,765	2,938	5,703

#### 賞の種類(中学生・高校生共通)

個人賞	最優秀賞	3名
	(JICA理事長賞、外務大臣賞、文部科学大臣賞)	
	優秀賞	3名
	審査員特別賞	4名
	国際協力特別賞	10名
	国内機関長賞	各都道府県1名以下
	佳作	70名程度
	【副賞】最優秀賞・優秀賞:海外研修	
	その他個人賞:フェアトレード商品	
学校賞	60作品以上または全校生徒の3割以上応募	
	(副賞:表彰メダル)	
特別学校賞	5年以上連続学校賞受賞(副賞:表彰楯)	

### 【エッセイコンテストの概要】

次世代を担う中学生・高校生を対象に、エッセイを書くという行為を通じて、国際協力について考えてもらうきっかけを提供し、開発課題や国際協力への興味・関心を高めてもらうことを目的に実施。1962 年度に「海外移住懸賞作文」として開始され、2025 年度は高校生の部が 64 回目、中学生の部は 30 回目を迎える事業。

中学生の部の審査員長は尾木直樹氏(教育評論家・法政大学名誉教授)、高校生の部の審査員長は星野知子氏(俳優・エッセイスト)に担っていただいた。

2025 年度をもって本事業は終了する。今後 JICA は、探求学習に活用できる教材の提供や JICA 海外協力隊等のオンライン出前講座の拡充などを通じて、新たな形で中高生の学びを支援していく。

[国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト HP](#) (右 QR コード参照)

